

NY 市場レポート（前日 21 時 00 分～午前 5 時 30 分まで）

米国の主要な経済指標の結果

7 月米雇用統計の結果

失業率 4.3%（予想 4.1%・前回 4.1%）

非農業部門雇用者数 +11.4 万人（予想 +17.8 万人・前回 +20.6 万人⇒17.9 万人）

民間部門雇用者数 +9.7 万人（予想 +14.1 万人・前回 +13.6 万人）

製造業雇用者数 +0.1 万人（予想 -0.7 万人・前回 -0.8 万人⇒-0.9 万人）

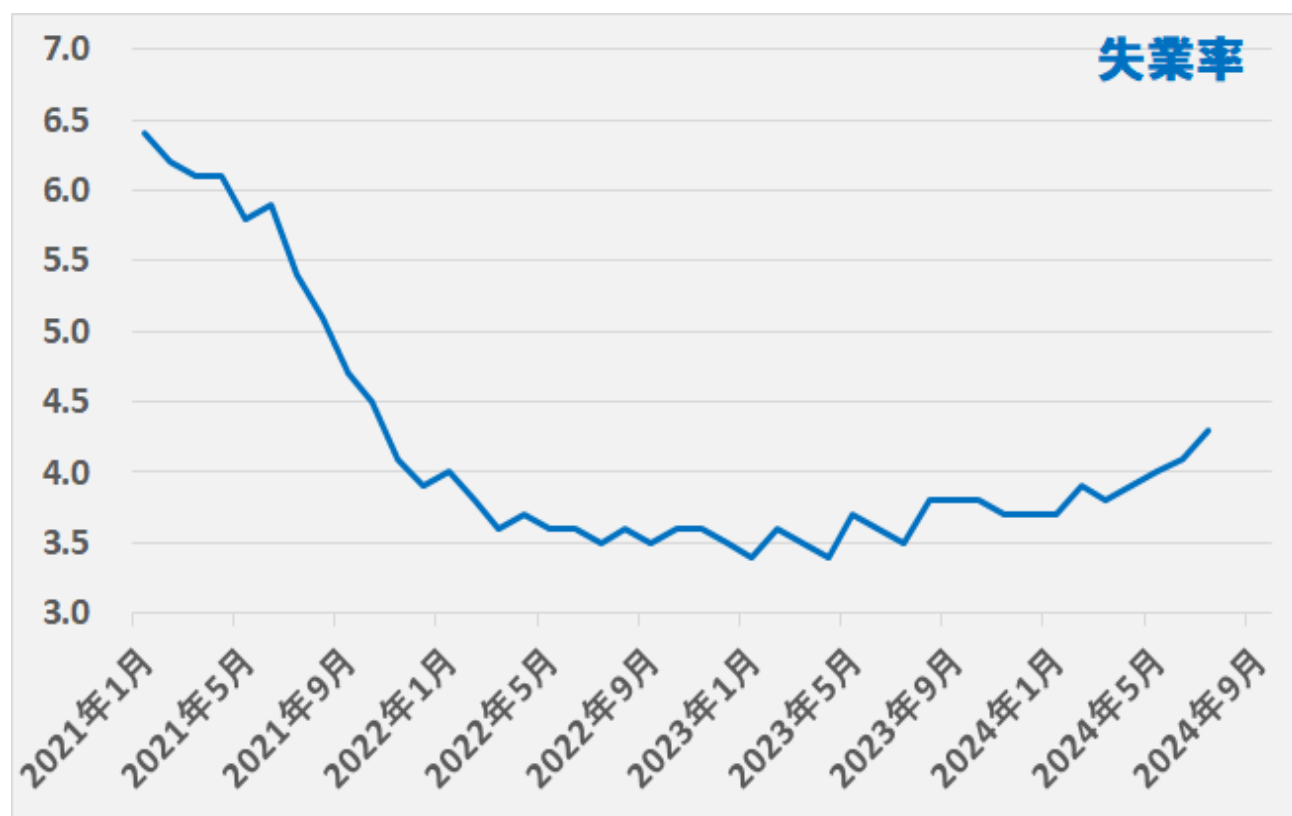
平均時給（前月比）0.2%（予想 0.3%・前回 0.3%）

平均時給（前年比）3.6%（予想 3.7%・前回 3.9%⇒3.8%）

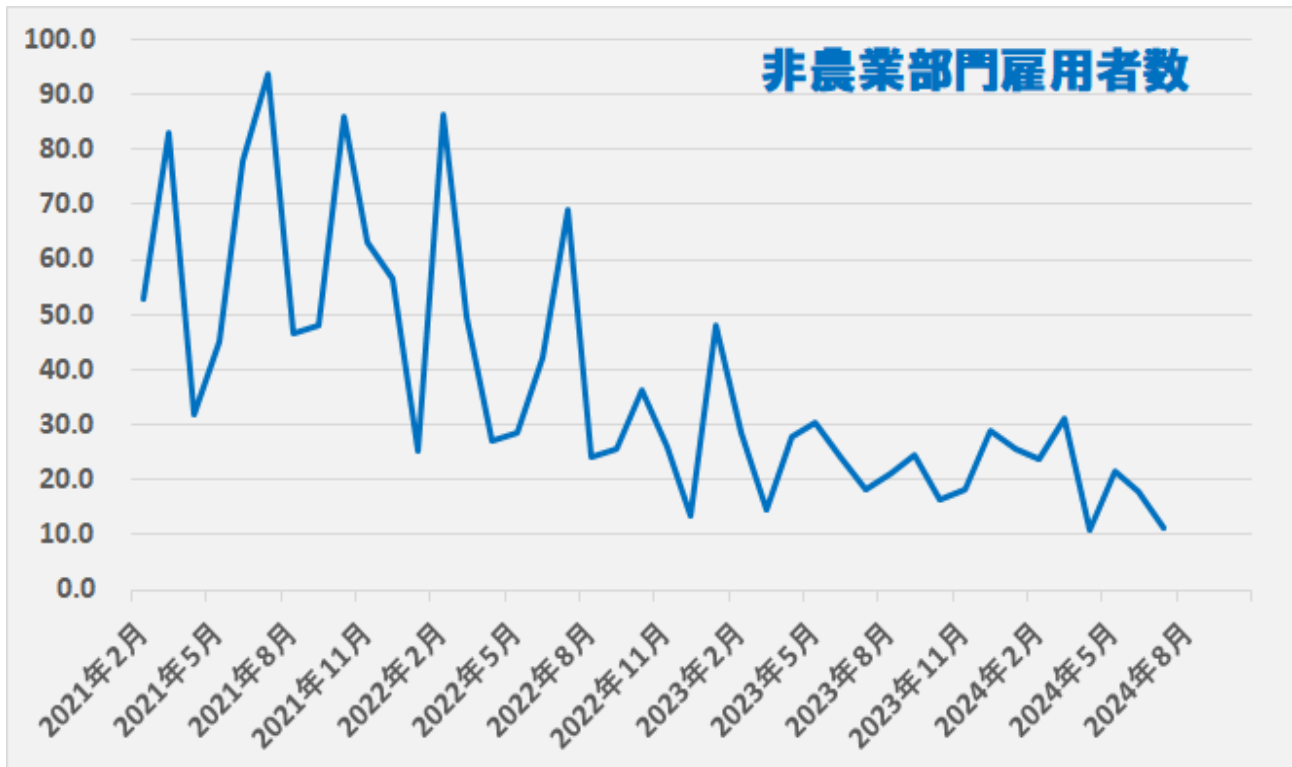
週平均労働時間 34.2（予想 34.3・前回 34.3）

労働参加率 62.7%（予想 62.6%・前回 62.6%）

7 月の米雇用統計では、失業率が市場予想を上回り、2021 年 10 月以来の高水準となったことや、非農業部門雇用者数が予想を大幅に下回る結果となった。さらに、賃金の伸びも市場予想を下回る結果となったこともあり、労働市場が想定よりも速いペースで悪化していることが示された。



データを基に SBILM が作成



データを基に SBILM が作成

主要株価指数は大幅続落

米株式市場では、序盤に発表された7月の米雇用統計で、景気動向を敏感に映す非農業部門雇用者数が市場予想を大きく下回ったことを受けて米経済の先行き懸念が広がり、投資家のリスク回避の動きから主要株価指数は軒並み下落した。ダウ平均は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比989ドル安まで下落した。その後は下げ幅を縮小する動きとなり、610.71ドル安(-1.51%)で終了。一方、ハイテク株中心のナスダックは、半導体やIT大手の決算が低調だったことが影響して下げ幅を拡大し、417.98ポイント安(-2.67%)で終了した。



セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	金融	-3.89%	1	インテル	-26.06%
2	資本財	-2.71%	2	アマゾン	-8.78%
3	エネルギー	-2.67%	3	アメリカンエキスプレス	-6.59%
4	テクノロジー	-2.20%	4	ゴールドマン・サックスG	-5.89%
5	消費者サービス	-1.31%	5	ボーイング	-4.69%

データを基に SBILM が作成

ドル円・クロス円は軟調な動き、ドル/円は 2/2 以来の安値

NY 市場では、序盤に発表された 7 月の米雇用統計で、失業率や非農業部門雇用者数、平均時給がいずれも市場予想よりも弱い結果となったことを受けて、米金利の低下とともにドルは主要通貨に対して下落した。さらに、米景気の先行き不透明感から主要株価指数が大幅下落となったことでリスク回避の動きも強まり、クロス円も大きく下落した。ドル/円は、序盤の 149.11 から 146.40 まで下落し 2/2 以来の安値を付けた。その後は 147.45 まで値を戻す動きが見られたものの、米金利の低下が続いたこともあり、終盤にかけて再び軟調な動きとなり、146.43 まで下落した。なお、米長期金利の指標となる 10 年債利回りは、一時 3.78% 台まで低下して昨年 12 月下旬以来の低水準、2 年債利回りは一時 3.84% 台まで低下して昨年 5 月以来の 4% 割れとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。